

だいろくじかわごえしこくさいかきほんけいかく げんあん
第六次川越市国際化基本計画 原案

れいわ ねんど れいわ ねんど
(令和8年度～令和12年度)

すべ し み ん た ぶ ん か き ょ う せ い
全ての 市民が かがやく 多文化共生の まちづくり

が い よ う ば ん に ほ ん ご
【概要版（やさしい日本語）】

かわ ごえ し
川 越 市

計画の概要

位置づけ	この計画は、川越市の一番大切な計画（第五次川越市総合計画）に基づいて作られた計画です。 川越市が国際的になること（国際化）や、いろいろな文化を持つ人が一緒に暮らすこと（多文化共生）のために、必要な取り組みをこの計画に沿って進めます。
期間	2026年度から2030年度までの5年間
基本の考え	全ての市民がかがやく多文化共生のまちづくり

川越市に住んでいる外国籍市民の状況

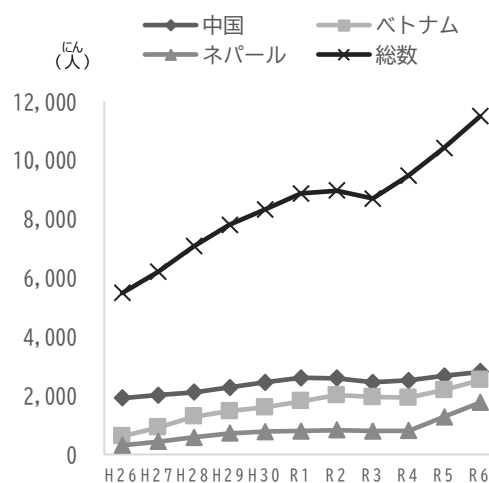
川越市には、2025年3月の終わりに、11,491人の外国籍市民が住んでいます。これは、川越市に住んでいる約30人のなかで1人が外国籍市民ということです。

2027年4月に「育成就労制度」という新しい制度が始まるため、外国籍市民はもっと増えると考えられます。

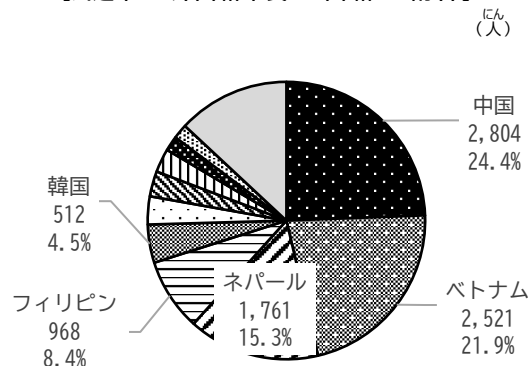
川越市の人口	352,673人
外国籍市民の数	11,491人
外国籍市民の割合	3.26%

川越市には、80の国の人がいます。中国、ベトナム、ネパール、フィリピン、韓国など、アジアの国の人が多いです。

【川越市の外国籍市民数の変化】



【川越市の外国籍市民の国籍の割合】



けいかく もくひょう ないよう 計画の目標と内容

けいかく
 計画には 4つの 基本の 目標が あります。

もくひょう 目標	やること	おも と 主な 取り組み
がいこくせきしみる 外国籍市民への 支援の 充実	コミュニケーション の サポート	がいこくせきしみる ・外国籍市民のための 相談会を します。 にほんごきょうしつ ・日本語教室を 開きます。 じぎょう (事業が 10個 あります。)
	がいこくせきしみる 外国籍市民の 生活の サポート	がっこう はい ・学校に 入るための 情報を、やさしい日本語 や 外国の 言葉で 伝えます。 がいこくせきしみる ・外国籍市民が 災害から 身を守るための じゅんび 準備を します。 じぎょう (事業が 12個 あります。)
がいこくせきしみる 外国籍市民にも 暮らしやすい まちづくり	しゃかい 社会に 参加する ための サポート	がいこくせきしみる ・外国籍市民を 委員とする 会議を 開いて がいこくせきしみる 外国籍市民の 意見や 考えを し 市の 取り組みに いかします。 じぎょう (事業が 5個 あります。)
	いろいろな 文化の ひと 人が 交流する ばしょ 場所を 作る	こくさいこうりゅう ・国際交流や 多文化共生に 関係する し 市民の 団体を サポートします。 じぎょう (事業が 3個 あります。)
たがんかきょうせい 多文化共生意識を も 持った し 市民の 育成	たいせつ 大切だと き 気づいてもらう、 ひと 人を 育てる	たがんかきょうせい ・多文化共生の 講座を 開きます。 がいこくせきしみる ・外国籍市民に 日本語を 教える ボランティアの 人を 育てます。 じぎょう (事業が 5個あります。)
しまい 姉妹・友好都市 こうりゅう 交流などの 充実	しまい 姉妹・友好都市との こうりゅうじぎょう 交流事業を おお 多くする	わか ・若い 人などが、お互いの 都市に 行き来する じぎょう 事業を します。 じぎょう (事業が 5個 あります。)

■ 計画を 進めるために 協力する 人たちと 役割

実行する 人	役割 (大切な こと)
市民	いろいろな 文化を 大切に、お互いに よく 理解します。 地域で 一緒に 活動します。
川越市役所	計画を みんなに 知らせます。いろいろな 団体と 協力します。 市役所の 中で 多文化共生の 考えを 広げ、取り組みを 進めます。
ボランティア 団体	市と 協力して 多文化共生に 貢献します。
教育機関	<大学> 留学生に 専門的な 教育や 生活の サポートを 行い、 地域で 仕事を する 人を 育てます。 <小学校・中学校・高校> こどもの 状況に 合わせて、日本語や 教科の 勉強を 教えます。 <日本語学校> 生活や 進学・仕事に 必要な 日本語を 教えます。
病院・福祉 の 機関	言葉や 文化の 違いを よく 考えて 外国籍市民を 受け入れます。 外国籍市民に 向けて 健康や 福祉に 関する 情報を 出します。
会社	外国人の 従業員が 働く 環境を よく します。 日本語学習など、外国人の 従業員の 生活を サポートします。
自治会	外国籍市民に 自治会に 入ることを 勧めます。 地域の イベントで 外国籍市民と 交流します。

■ 計画の 指標 (計画どおり できているかを 測る 数字)

指標	今の 数字	目標の 数字
日本語教室に 参加した 人の 数	4, 423人	5, 000人
「川越市は 住みやすい」と 答えた 市民の 割合	54%	60%
ボランティアとして 活動した 人の 数	3, 563人	3, 800人
外国籍市民との 交流が ある 市民の 割合	7.3%	10%
外国の 姉妹都市との 交流事業の 数	3.5回	4回